

5 . 5 . 2
水 産 課
内 線 2 6 1 8

ヒョウモンダコを目撃情報について

宇和島市津島町の田之浜地区において、ヒョウモンダコが目撃されたことから、南予地方局水産課では、管内の市町、漁業協同組合等の関係機関に注意を促しました。

- 1 昨日（5月1日）、「津島町田之浜の真珠母貝養殖筏で漁業者がヒョウモンダコのようなタコを目撃した」との連絡が、県漁協下灘支所から南予地方局水産課にありました。
- 2 このヒョウモンダコは暖海性で、日本近海では熱帯、亜熱帯の岩礁やサンゴ礁に生息していますが、近年、宇和海においても目撃情報が増えており、県では注意を呼び掛けています。
- 3 大きさは最大 10 cmほどの小型のタコですが、フグと同じ強い毒（テトロドトキシン）を持ち、咬まれたり、食べると非常に危険であることから、もし見つけても不用意に触ったり、食しないよう注意が必要です。



ヒョウモンダコ（参考）

○問い合わせ先

農林水産部水産局水産課

TEL 089-912-2618（内線2618）

担当者：成田

南予地方局農林水産振興部水産課

TEL 0895-22-5211（内線341）

担当者：菊池

【参考情報】

1 ヒョウモンダコの特徴

このタコは、体長 10cm 程度の小型のタコで、刺激を受けると全身に青いリング模様が現れます。本来、熱帯域・亜熱帯域に分布し、浅い海の岩礁、サンゴ礁、砂と小石混じりの海底などに生息します。唾液腺や筋肉・表皮にフグと同じ神経毒のテトロドトキシンなどの猛毒を含み、かまれたり、食べると呼吸困難や心肺停止を引き起こし、死に至る場合があります。

2 注意事項等

磯などで、青いリング模様があるタコをみかけたら、絶対に素手でさわらないでください。さわらなければ、危険はありません。ヒョウモンダコを見つけた場合、絶対にさわったり、捕まえたりしないでください。

3 かまれたり、食べたときの処置について

かまれたり、食すると、数分後から唇、顔や首のしびれを感じ、めまい、言語障害に続いて急に脱力感や嘔吐、呼吸困難が発現します。重症の場合には呼吸麻痺により死亡する場合があります。もしかまれた場合は、安静にして救急車を呼ぶなどして、すぐに医療機関(救急告示病院)で治療を受けてください。毒をしぼり出し、流水で洗い流すのは効果的ですが、口で毒を吸い出すのは非常に危険なので、絶対しないでください。